

令和2年第25回（臨時）高砂市教育委員会 会議録

日時

令和2年11月30日午後7時00分

場所

高砂市役所南庁舎2階会議室2

出席者

衣笠教育長、山名委員、布施委員、吉田委員、神尾委員

出席事務局職員

永安教育部長、阿部教育推進室長、赤松学校教育室長、矢野学校教育室学校教育課長
北野教育推進室教育総務課長、高橋学校教育室学務課長、中野教育推進室生涯学習課長
後藤中央公民館長

本日の会議に付した事件

協議事項

- 1 令和2年高砂市議会12月定例会提出議案に係る意見の聴取について

議 事 協議事項 1 令和 2 年高砂市議会12月定例会提出議案に係る意見の聴取について

- 事務局 (協議事項 1 について説明)
- 教育長 説明が終わりました。まず、提出議案の説明の予算関係の議案について、何か御質問、御意見がありましたら。
- 委員 修学旅行中止対策費補助金について教えていただきたいのですが、「修学旅行の中止及び企画変更に伴い」という表現になっていますけれども、小学校は大体全部修学旅行へ行きましたよね。中学校は原則中止という形になったのだと思うのですがけれども、企画変更といったら、例えば 2 泊 3 日のところを日帰りで行くとか、どういうことになったのですか。
- 事務局 小学校のほうで 1 泊 2 日の修学旅行が 1 日のみの実施ということで、そういう企画変更でございます。
- 委員 中学校については、日帰り等は一切結果的になかったということですか。
- 事務局 中学校のほうも、春に行く予定をしておりましたものを秋に行くということで企画を変更しておりましたので、その部分のみ企画料変更が発生しておりましたということでございます。
- 教育長 中学校は中止になったけど、企画が春から秋に変更になった時点でもう企画料が発生しているので、その分ということですね。
- 事務局 はい。
- 委員 小学校に関しては日帰りで行ったということでみんな喜んでいます。中学校に関しては原則中止で、それに代わるものを何か企画してはという話があったと思います。そういう修学旅行に代わるようなものは何かありますか。
- 事務局 全 6 中学校が何か代わるものという工夫は行っております。例えば球技大会を生徒会が主催して実施するとか、3 年生だけ劇団を呼んできて観劇をということもございました。それから、コロナ終息を願う千羽鶴を折って、地域の人にアピールをするというような催物をするだとか、校区内なのですが、近くに出かけようかという企画を考えているだとか、6 校とも何らかの思い出づくりは計画して実施していただいております。
- 委員 もしよければ、企画されているような一覧表を見せていただきたらと思います。実際どうしているのだろうと気をもんでいるところなので、何か本当に一生懸命考えてあげてほしいなということがあったので、実際どんなのか教えてほしいと思います。
- 事務局 申し訳ございません。今日、一覧表をお持ちさせていただいていないのですけれども作成はしております、またお持ちさせていただきます。

- 教育長 今日もし間に合うのだったら、お示しさせていただきます。修学旅行が中止になってしまったので、何か思い出になるようなものという形での計画をしているということですね。
- 委員 思い出づくりということから言えば共通点はあるのだけれども、今お聞きした情報では、修学旅行の代わりにはとてもならないような内容だと思うのです。日帰り旅行等を企画されているところがあったのかということを知りたかったのですが、ないということなので、生徒から見ても修学旅行の代わりだなというようなものができていたらと。来年の修学旅行に関しても、予約等は早ければ来年の4月にはとっていますから、同じように中止にすることになったらどうするのかということを含めて、考えていかなければいけないと思います。
- 教育長 代わりにというのではなくて、できなかったので何か思い出になるようにと。感染が不安だということと、3年生は入試があるため、何処かへ行くことは難しかったようです。他に補正予算関係、よろしいですか。では、条例の関係の分について何か御質問はありませんか。よろしいですか。次に、公共施設の最適化計画の資料を見ていただいて、何かお気づきの点がありましたら御意見をいただけたらと思います。
- 委員 小学校のところで、「統廃合や校区の見直し意見の検討」というのがあるのですが、具体的にどういうことなのか教えてもらえませんか。
- 事務局 児童生徒数がどんどん減っていくであろうというところも見据えて、市内10小学校、6中学校とも人数を見ながら必要であれば校区の見直し、クラス数が激減する場合には統合も可能性としてはゼロではないというところですね。この公共施設の最適化計画では保有面積も減らすということも1つ目的がございますので、そういった中で統廃合、また校区の見直しということも視野に入れて適正な規模を考えていくという意味になります。
- 委員 統廃合というのは、ある小学校はなくして別の小学校と一緒にしてしまうという意味合いですね。
- 事務局 2つの小学校1つにするという可能性も出てくるかと思います。
- 事務局 追加させていただきます。この部分なのですが、2036年度までの計画になっています。今後15年の間にそういったことがあれば検討するというような内容になっていますので、具体的に何か決まっているものではないです。少子化といった状況にある中で、こういったことも視野に入れておかなければいけないだろうという長期的な計画なので、今何かあるというものではないです。
- 委員 何故高砂小学校はその文言が入らないのですか。
- 事務局 高砂小学校と高砂中学校につきましては、将来的な取り組みとしては小中一体化というところを目指してしておりますので、ほかの地域の学校との統廃合というのは考えにくいというところで外しております。

- 委員 高砂小学校、中学校のように隣接する建物を統合する形は、ほかの小学校、中学校に関しても、校舎を建て替えるに当たって、隣接して建てるようなこともできると思いますので、高砂と同様に小中一体化もできると思います。校区ごとに違う考え方をするというのは一貫性、整合性がないような考え方だと思います。
- 委員 私もそこが気になったのですが、高砂小学校が荒井と統廃合という話が出て、住民の方々の御理解をいただけなくてこの小中一貫という形に収まったと記憶しています。ということは、他の地区でも統廃合ということになると、そういう動きが出てくる可能性はあると思うのです。そうなったときに、高砂は認めたけど、あとは認めませんというのには納得していただけない可能性もあると思うので、ほかの学校に関しても統廃合及び中小が1つの校舎にまとまってという可能性を一緒に記入しておくべきではないかなというのは私も感じました。
- 委員 荒井幼稚園なのですが、向こうの5年の間は維持、幼稚園そのまま、15年後までにこども園化を検討するというので受け取ってよろしいのですか。
- 教育長 荒井幼稚園の方向性の表現については、こども未来部または経営企画室と再度検討させていただきます。よろしく申し上げます。公共施設の全体最適化計画の一覧表の中で、ほかに何かございませんか。これは3年後にまた見直しますよね。
- 事務局 アクションプランは3年ごとに見直すと聞いています。
- 委員 工楽松右衛門、入江家の修繕等の経費見込みが一切あがっていないのは何故ですか。修理、維持費等色々と今年の予算が上がっていたと思うのですが。
- 事務局 ここに上がっています経費は、施設の状態が必要と思われる経費を具体的に積算したのではなく、標準的に築何年であればこれぐらいかかるであろうということで試算した数字を積み上げています。申義堂は8年前に今の形で建てており、工楽松右衛門旧宅は2年前に改修して今の形になっておりますので、すぐに維持修繕は必要ないだろうということで抜けています。入江家住宅に関しましては、今後改修が必要であるという中で、維持改修計画をつくって、それに合わせて維持経費を積算していく必要があるので、今のところ空欄になっていると思います。
- 教育長 ないということではなくて、改修計画にのっとって空欄となっているということです。
- 事務局 追加しますと、この3つの施設に関しましては文化財施設ということになっていきますので、一般の公共施設と維持修繕にかかる経費も変わってくるということもありまして、単純な積算で数字が入れられないということが考えられます。基本的に学校施設その他は鉄筋コンクリートですけど、この3つに関しては木造の建物になりますので、その辺りの違いもあってここは数字が入れられていないのかなとは思いますが。
- 教育長 ほかに何かございますか。ないようですので、これで今までいただいた分を経営企画のほうにつなぎまして、次回の委員会で報告できるような形でまとめるということにいたします。予算議案1つと条例議案1つ、議会のほうに繋いでいきま

す。それから、最適化計画につきましても経営企画のほうにつないでいきたい
と思います。貴重な御意見をたくさんいただきましてありがとうございました。

令和2年11月30日 午後8時15分 教育長会議の閉会を宣告
